

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/24～12/25

・12/24(月)

北朝鮮から解放された男性初取材、天皇陛下最後の会見、日韓の食い違う主張、大阪都構想、トランプ氏のマティス氏外し、日産のゴーンなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

・12/25(火)

日産のケリー被告保釈、日経平均株価急落の背景にトランプリスク、内閣府の防災対応報告書、森友問題などが取り上げられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。日経平均株価急落の背景にトランプリスクおよび森友問題については検証者の所感を記しました。

なお、この放送が今年最後の放送日でした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください
放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年12月24日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮から解放された男性初取材、天皇陛下最後の会見、日韓の食い違う主張 大阪都構想、トランプ氏のマティス氏外し、日産のゴーン		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ X'mas イブ、子どもたちに笑顔 ・ 一昨日のインドネシアの津波、引き金は火山 ・ 北朝鮮から解放された男性初取材 ・ 天皇陛下最後の会見 ・ 日韓の食い違う主張 ・ 大阪都構想 ・ トランプ氏のマティス氏外し ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> インドネシアの津波 日韓の食い違う主張 日産のゴーン 神奈川県横須賀市で車に轢かれ男性死亡 ・ 天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮から解放された男性初取材：結論→特に問題なし <p>スパイ行為などを疑われ今年5月まで北朝鮮に身柄を拘束されていたキム・ドン Chol 氏が日本メディアでは初めて JNN の取材に応じ、北朝鮮の収容所の実態について語ったとのことで、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>キム・ドン Chol 氏「お腹が空いて何でも食べた、ミミズ以外全て食べた、今も悪夢に苦しんでいます。」</p> <p>ナレ「韓国系アメリカ人のキム・ドン Chol 氏、北朝鮮から解放されて半年以上経ちますが、今も心の傷は癒えないと言います。北朝鮮の経済特区、羅津。ここでキム氏は貿易などの仕事についていました。軍人や政府関係者と接点もあり、北朝鮮に関する研究資料を他国の政府機関に提供したこともあったと言います。2015年、キム氏はスパイ行為などの疑いで北朝鮮当局に拘束されます。羽 k 津波町駅に相当する労働教化 10 年。山奥にある収容所での 2 年間に渡る生活は過酷なものだったと言います。」</p> <p>キム・ドン Chol 氏「カメラが 3 台、トイレにまでカメラが有る、いつもカメラ画に向かって正座をさせられ、なにか用事があればカメラに向かって手を挙げる。」</p> <p>ナレ「独房ではトイレに行くときでさえ座らされた上でカメラに向かって許可を得る必要があったと言います。キム氏は判決が出た 4 月 29 日にちなんで 4 29 番と呼ばれました。」</p> 		

キム氏「冬は土を掘ることが私の仕事、彫り終わったらもとに戻してと言われる。寒い中汗 r を書いて穴をほったのになぜもとに戻すのかと聞くと、429 番は聞く資格はない、と言われた。」

ナレ「食事は少量の米と味噌汁のみ、あまりの空腹に蒸し焼きのみを食べたとも言われました、さらに監視役の軍人から日常的に棍棒で殴られていたとうたえます。」

キム氏「殴るときは選りながら殴る、一番痛いところ、一番証拠が残らないところを殴る。地獄の中の地獄です、これがまさに北の刑務所の現実です。」

ナレ「キム氏は北朝鮮の現実を世界に知ってほしいと訴えます。」

このトピックに当てられた時間は 198 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・天皇陛下最後の会見：結論→特に問題なし

天皇誕生日での天皇陛下の記者会見について取り上げられていた。会見については VTR で以下に朱記した様子が取り上げられていた。

ナレ「昨日、天皇として最後の誕生日を迎えられた陛下。これに先立ち行われた記者会見、ときおり声を震わせながら平成の時代を振り返りました。」

天皇「来年春の私の譲位の日も近づいています。平成が、戦争のない時代として終わろうとしていることに心から安堵しています。」

ナレ「特に時間を咲いたのは沖縄への思いでした。」

天皇「沖縄の人々が耐え続けた犠牲に心を寄せていくとの私どもの思いはこれからも変わることはありません。」

ナレ「象徴天皇のあり方を模索し続けた 30 年。」

天皇「私は即位以来、日本国憲法のもとで象徴と位置付けられた天皇の望ましいあり方を求めながらその務めを行い今日迄を過ごしてきました。」

ナレ「そして、その歩みに常に寄り添った皇后様への感謝を示しました。」

天皇「結婚以来皇后は常に私と歩みをともし、私の考えを理解し、私の立場と、務めを支えてきてくれました。天皇としての旅を終えようとしている今、私はこれまで象徴としての私の立場を受け入れ、私を支え続けてくれた多くの国民に中心より感謝するとともに自らの国民の一人であった皇后が私の人生の旅に加わり、60 年という長い年月、皇室と国民の双方への献身を真心を持って果たしてきたことを心から労いたく思います。」

またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられていた。

雨宮塔子「皇后様への感謝のお言葉に本当にこれまでになく陛下の思いが伝わってきますね。」

星浩「そうですね、皇后様と 11 回訪れたという沖縄についての発言が印象的だと思いましたね、沖縄の人々が耐え続けた犠牲というふうに言われていますけれども、両陛下ですねは沖縄について非常に熱心に学ばれて音楽とか言葉についても研究されていたそうですね。あの、陛下は象徴というのは何かという考え続けられまして、単に国事行為をまわすというだけではなく戦争とかですね災害の犠牲になった方々に心を寄せるということですね、ずっと心がけてこられたわけなんですけれども、まさにそのことを実践してきた 30 年だと思えますね。」

このトピックに当てられた時間は 245 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓の食い違う主張：結論→特に問題なし

自衛隊の哨戒機に対し韓国軍の駆逐艦から攻撃前に使う火器管制レーダーが照射されたと日本側が抗議している問題について韓国側は今日改めて攻撃的なレーダー照射を否定したこと、日韓の局長級協議が行われたとのこと、韓国で新日鉄住金に対し元徴用工への賠償を命じる判決が出た問題を巡っては観光側の弁護団が今日外交交渉も考慮すると近く資産の差し押さえを行う方針を示したとのことが報じられた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「元徴用工の弁護団に対し新日鉄住金が期限までに回答がなかったわけですが出口は見えてくるんでしょうか。」

星浩「そうですね。まああの条約上は解決済みの問題ですので、日本側として韓国国内の動向を見守るしかないんですが、最近になって韓国の対日関係者の中でね、その韓国政府が基金、ファンドを作ってそこに韓国企業が出資をしてですね、で元徴用工の関係者にそのお見舞金として、それを渡すというのはどうだろうという考えが出ていまして、そのへんが韓国の国内で理解を得られるかどうか、それが一つポイントとなってくると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 169 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・大阪都構想：結論→特に問題なし

大阪市を廃止・再編する大阪都構想の住民投票の実施時期について鍵を握る公明党との調整がつかず来年 4 月の統一地方選挙と同じ日に出直し選挙に打って出ることを選択肢だと大阪府の松井知事と大阪市の吉村市長が来年 4 月の任期満了を前に辞職する可能性を示唆したとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 36 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・トランプ氏のマティス氏外し：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領は来年 2 月末の辞任を表明したマティス国防長官の代行として来月 1 日にシャナハン国防副長官を昇格させると発表したこと、マティス長官が先週に大統領の同盟軽視などを批判した辞表を公開したことにトランプ氏は激怒したと伝えられていてマティス氏の退任時期を前倒しし職務から外すことを急いだものと見られているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 29 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・日産のゴーン：結論→特に問題なし

日産自動車前会長のカルロス・ゴーン容疑者が逮捕された事件でリーマン・ショック時に生じた巨額の損失を巡ってサウジアラビアの知人が 30 億円前後の保証料を負担していたこと、これによりゴーン容疑者は日産側に負わせていた損失の支払い義務を自分に戻す際に追加の担保を取めずに済んだとのこと、この知人の会社には日産の子会社からあわせて 1470 万ドルが支払われていて東京地検特捜部は知人が負担した保証料の返済や謝礼のためだったと見ているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 42 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年12月25日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：鴻上尚史(作家・演出家)</p>		
<p>検証テーマ：日産のケリー被告保釈、日経平均株価急落の背景にトランプリスク、内閣府の防災対応報告書 森友問題</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産のケリー被告保釈 ・日経平均株価の急落の背景にトランプリスク ・内閣府の防災対応報告書 ・【特集】イライラ日本 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 日産のケリー被告保釈 日経平均株価の急落 インドネシア津波から72時間低下 外国人材受け入れ拡大 ・天気予報 ・クロージング：森友問題に言及 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産のケリー被告保釈：結論→特に問題なし ゴーン容疑者とともに逮捕された側近のグレゴリー・ケリー被告が今夜保釈されたこと、 また、これと関連して勾留が続く中アメリカに住むケリー被告の妻ドナ・ケリーの「夫を保釈し自宅に戻してください。必要な手術を受けさせてください、それが私達家族のクリスマスの願いです。」という発言や、保釈されたケリー被告が発表した「私は言われるような虚偽記載は一切やっていません、私が無実であることは法廷の場で明らかにされていくことでしょう、無罪の判決を受け、私の名誉が回復されて、一刻も早く家族の元へ帰りたいと思っています。」といコメントが取り上げられていた。 スタジオではいかに朱記したやり取りが繰り返されていた。 "雨宮塔子「ケリー被告、保釈のコメントで無実を主張しましたね。」 星浩「そうですね。あの、任意の取り調べには応じない見込みですのでこれから検察側は相当しっかりした証拠がためをしなないといけないわけですよ、そういう意味では検察側のハードルはますます高くなっているという感じですね。」 このトピックに当てられた時間は167秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・日経平均株価急落の背景にトランプリスク：結論→特に問題なし 今朝の東京株式市場は取引開始直後から全面安の展開となり日経平均株価は一時1000円以上下落、2017年9 		

月以来1年三ヶ月ぶりに二万円を割り込んだとのこと、背景にあるのは世界経済への先行き不安とトランプリスクであると報じられた。また、一部メディアがトランプ大統領はアメリカの金融政策を司るFRB連邦準備制度理事会のトップの解任を検討していると報道したことも懸念材料となっていて、他にもマティス国防長官など政府の要人が次々に辞任するなど政権運営が不安視されていることからNY市場は今年の最安値を更新したとのことも伝えられた。

これに対して日本政府が対応に躍起になっているとして麻生太郎財務相の「いわゆる予測の可能性等々に関しては、過度に反応しすぎているんじゃないかなど。」というコメントや、午後6時から財務相と金融庁、日銀が緊急会合を行い対応を協議したこと、協議後の財務省の浅川雅嗣財務官の「今後ボラティリティーが更に高まることがあればですね、当然必要な措置は取るということを話し合った。」というコメントが取り上げられていた。

またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「アメリカの株価下落が日本を直撃しましたが、この傾向は続くのでしょうか。」

星浩「トランプさんの元顧問弁護士も実は12日に裁判で有罪になってですね、実刑判決が出てまして、どうもこのあたりからトランプ疑惑、その潮目が変わった、トランプさんの逆風が強まった、と言われるんですね、その逆風を跳ね返すためにトランプさんがさらにその貿易問題とかね、それから壁の建設とかで強硬策に出てくるとまたいろんな不安要素、混乱要因が出てくるという感じですよ。日本もね、たまたま明日でアベノミクス、安倍政権ができて、第二次安倍政権6年になるんですけども、アベノミクスで株高だったんですけども実はアメリカ頼みだったということがわかりましてね、やはりその脆弱な点も露呈していますよね。」

このトピックに当てられた時間は189秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・内閣府の防災対応報告書：結論→特に問題なし

政府の作業部会がまとめた報告書では、南海トラフの東西いずれかでマグニチュード8クラスの大地震が発生した後に連動して同規模の地震が反対側で発生する半割れの可能性に備え、津波からの迅速な避難が難しい沿岸部の住民に予めおよそ一週間避難してもらうことなどを基本としていること、一部の領域でマグニチュード7以上の地震が発生する一部割れやゆっくりすべりと呼ばれるケースでは一週間を基本に地震への備えを再確認するなど警戒レベルを挙げてもらうことを基本としていること、政府は今後この報告書をもとにガイドラインを作成する方針であるとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は69秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・森友問題：結論→特に問題なし

番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられ、森友問題に言及されていた。

駒田健吾「今年一年、自然災害が多くてですね、どこに言ってもまさか自分の土地がっていう方が多かったので、来年も常に備えは必要だと思いますね。」

雨宮塔子「はい」

星浩「私はやっぱり今年一番印象に残っているのは財務省の森友文書の改竄ですね。まあ官僚がですね、ここまですべて劣化しているのかって思うと私は政治記者として官僚を見ていた目からするとですね、非常に衝撃でしたね、まだまだ真相はね、明らかになっていませんからね、来年以降、我々更に真相を解明していく必要があると思いま

すね。」

雨宮塔子「そしてニュース 23、実は今日が年内最後の放送となります、来年も全てのニュースに対し丁寧に取材し真摯に掘り下げてお伝えしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。ええ、年明けは4日から、4日からの放送になります。では皆さん良いお年をは早いのでしょうか、良いお年を」

このシーンに当てられた時間は54秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・日経平均株価急落の背景にトランプリスク

星キャスターの「日本もね、たまたま明日でアベノミクス、安倍政権ができて、第二次安倍政権6年になるんですけども、アベノミクスで株高だったんですけども実はアメリカ頼みだったということがわかりましてね、やはりその脆弱な点も露呈していますよね。」という発言であるが、そもそも日本に限らず世界中どの国の市場においても、アメリカの影響というは無視できないわけで、そういう意味では、「アメリカ頼み」や「脆弱」というのはアベノミクスに特有のものではないだろう。しかし、星キャスターの様な発言では「アメリカ頼み」や「脆弱」というのがアベノミクスに特有なものという誤った印象を与える恐れがありはしないのだろうか。

・森友問題

星キャスターの「私はやっぱり今年一番印象に残っているのは財務省の森友文書の改竄ですね。まあ官僚がですね、ここまで劣化しているのかって思うと私は政治記者として官僚を見ていた目からするとですね、非常に衝撃でしたね、まだまだ真相はね、明らかになっていませんからね、来年以降、我々更に真相を解明していく必要があると思いますね。」というコメントから、典型的な「昔は良かった」という響きを感じられた。

これまでの官僚の不祥事と言えば文部省と労働省が関与したリクリート事件、大蔵省と銀行によるノーパンしゃぶしゃぶ接待、防衛庁調達実施本部背任事件や防衛省の山田洋行事件、社会保険庁の消えた年金問題など、枚挙に暇がないが、そうした事件は時の経過とともにすっかり忘れてしまわれたのだろうか。

少なくとも過去のそうした諸々の不祥事を踏まえると、実はもともと劣化していたところが露呈している、という可能性も十分にあるわけで、一概に「劣化している」と言い切れるものでもないだろう。

また、「来年以降、我々更に真相を解明していく必要があると思いますね。」と意気込むのは大いに結構であるが、真相というのは案外拍子抜けなものであることも少なくなく、自分たちの見立通りの真相であろうが見立てに反するものであろうが、伝えるのが重要であろう。